

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【公開番号】特開 2019-152760 (P2019-152760A)

【公開日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-037

【出願番号】特願 2018-38045 (P2018-38045)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

C 0 9 B 57/00 (2006.01)

C 0 9 B 67/22 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

C 0 9 B 67/46 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 5

C 0 9 B 57/00 Z

C 0 9 B 67/22 Z

C 0 9 B 67/20 F

C 0 9 B 67/46 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 25 日 (2020.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 0 】

その他着色剤は、例えば、C . I . ピグメント レッド 7、14、41、48 : 1、48 : 2、48 : 3、48 : 4、57 : 1、81、81 : 1、81 : 2、81 : 3、81 : 4、122、146、168、169、176、177、178、179、184、185、187、200、202、208、20、242、246、255、264、270、272、273、274、276、277、278、279、280、281、282、283、284、285、286、または 287 等の赤色顔料が挙げられる。赤色染料は、例えば、キサンテン系、アゾ系（ピリドン系、バルビツール酸系、金属錯体系など）、ジスアゾ系、アントラキノン系が挙げられる。これらの中でも赤色染料は、C . I . アシッド レッド 52、87、92、289、338 等のキサンテン系酸性染料の造塩化合物が好ましい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 2 】

これらの中でも C . I . ピグメント レッド 177、242、C . I . ピグメント イエロー 139、150、185 が好ましい。